

日野川流域の温泉紹介

日野川の流域には、色々な温泉地がありますが、今回は、その代表的な所をご紹介します。

まだまだ寒い日が続きます。休日には、温泉につかってゆっくりとすごしたいものですね。

日吉津温泉 (日吉津村)

日野川をへだてて皆生温泉の対岸に湧き出る日吉津温泉は、日本海、大山の

眺望を楽しみながら、のんびりできる温泉つき宿泊施設うなばら荘にて楽しめます。温泉はリウマチ、運動機能障害、更年期障害ほかに効能のある食塩泉です。

お問い合わせ先 うなばら荘 TEL 0859-27-2018

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~una-bara/>



皆生温泉(米子市)

皆生温泉は鳥取県の西の端、米子市に位置し、日本海に面した海辺の温泉郷です。1900年、漁師が海中に湧き出す温泉を発見したのが始まりで、温泉地として

開発されたのはさらに20年後のことです。旅館街は、白砂青松の海岸沿いに東西1キロ、南北0.4キロの範囲にあり、観光旅館、公共の宿など40軒、5,000人の収容力を誇る山陰では最大の温泉地です。夏は海水浴が楽しめるほか、国内トライアスロン発祥の地としても広く知られています。

お問い合わせ先 皆生温泉旅館組合 TEL 0859-34-2888

ホームページ <http://www.kaike-onsen.com/>



岸本温泉(伯耆町)

大 山に降り注いだ雨や雪が長い年月をかけて地中深くで温められ湧き出てきた岸本温泉。地下

1150mから汲み上げるアルカリ性単純泉は、神経痛、リュウマチ、関節痛、疲労回復、健康増進によく、施設では山陰初の冷凍サウナをはじめ、トレーニングルームや食事の施設も整っています。

お問い合わせ先 岸本温泉 ゆうあいバル TEL 0859-68-5526

ホームページ <http://www.houki-town.jp/kanko/index.html>

(伯耆町役場)



日野川の生きものたち③

鳥



オシドリ(鴛)

鳥取県の鳥として知られるオシドリは、オスとメス一緒にツガイでいることが多く、オシドリ夫婦の名の由来となっています。オスは繁殖期に大きな銀杏羽をもち、とても美しいですが、メスは地味な灰褐色です。日野川流域では、日野町がオシドリの町として親しまれ、毎年多くのオシドリが飛来しています。

魚



ヤマメ(山女)

ヤマメは、サケやマスの中なかまで一生を淡水域で生活しているものが大半です。大きなものは30～40cmにもなります。大きくなっても体の模様は消えません。海に下り、大きなマスに成長して川に戻ってきたものをサクラマスといいます。